

2016年度キャリア・就職支援への取り組み調査

2016年8月



- 内容 大学等のキャリア・就職支援の実態に関する調査
- 実施期間 2016年6月23日～2016年7月20日
- 調査対象 全国の大学就職支援担当部署・窓口
- 調査方法 以下のいずれかの方法で回答
- ・WEBフォームへ入力
 - ・回答用紙をFAXにて返送もしくは弊社担当者へ手渡し

回答属性データ

カテゴリー	国公立	私立	全体
学校別回答数	92	344	436
キャンパス別の回答数	5	29	34
総計	97	373	470

※キャンパス別とは・・・同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、各1回答として集計した。

学校所在地	国公立	私立	全体
北海道	8	18	26
東北	11	25	36
関東	12	124	136
甲信越	7	17	24
北陸	5	8	13
東海	11	46	57
関西	15	82	97
中国	10	20	30
四国	5	6	11
九州	13	27	40
総計	97	373	470

■本資料について資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 TEL: 03(6267)4571 / E-mail: hrrc@mynavi.jp

□質問事項

<p>1)今年度の就活スケジュール変更における学生への影響について</p>	<p>大学4年生の授業出席率の変動 自己分析への影響 業界・職種・企業研究への影響 大手志向への影響 地元(あるいはUターン)就職志向への影響</p>	<p>内定率への影響予測 就職留年する学生数の増減予測・増減割合予測 就職せずに卒業する学生数の増減予測・増減割合予測</p>
<p>2)2017年卒向け就職ガイダンスについて</p>	<p>学生の延べ参加人数の増減・増減割合【前期、夏休み～年末、年明け、全期間】 開催回数の増減 17年卒→18年卒開催時期の変化</p>	<p>17年卒及び18年卒の就職ガイダンス開始時期</p>
<p>3)2017年卒向けの求人(票)の受付や学生の個別相談・学校推薦状の発行について</p>	<p>求人(票)の受付社数の増減・増減割合 求人の依頼時期の変動 企業人事訪問社数の増減 キャリアセンターへの負荷増減</p>	<p>相談員の人数の増減 学生の延べ相談件数の増減 【理系】学校推薦状発行開始時期</p>
<p>4)採用広報を目的としない企業を招いて実施する業界研究セミナーについて</p>	<p>業界研究セミナー実施の有無 17年卒学生の延べ参加数の増減・増減割合 17年卒→18年卒開催回数の増減</p>	<p>17年卒・18年卒の業界研究セミナー開始時期 17年卒→18年卒開催時期の変動</p>
<p>5)採用広報を目的とした学内企業説明会について</p>	<p>採用広報を目的とした学内企業説明会実施の有無 17年卒の延べ参加人数の増減・増減割合 17年卒向け開催回数の増減 17年卒向け説明会開始時期の変動 17年卒向け開催時期</p>	<p>18年卒向け開催予定時期 17年卒→18年卒向け開催予定時期の変動 17年卒向け延べ参加企業数平均 内、2017年卒向けから新規参入の企業数平均</p>
<p>6)保護者向けのガイダンスについて</p>	<p>保護者向けガイダンスの有無 2015年度→2016年度実施回数の変動 保護者向けガイダンスの内容</p>	<p>2015年度延べ実施回数 2016年度延べ実施回数(予定含む) 2015年度延べ参加人数の増減・増減割合</p>
<p>7)低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて</p>	<p>キャリア教育実施の有無 キャリア教育の実施時期の変動 キャリア教育の実施回数の増減 キャリア教育の開始時期</p>	<p>大学で実施する、単位認定をしている インターンシップの有無 インターンシップの経験は、学生の就職活動の結果に対してよい影響を及ぼすか</p>
<p>8)グローバル人材について</p>	<p>外国人留学生の(就職該学年)平均人数 外国人留学生の国内就職希望者数平均 就職支援の実施・実施予定の有無 外国人留学生向け就職支援プログラムの内容</p>	<p>日本人留学経験者への特別な就職支援の有無 日本人留学経験者への特別な就職支援の有無 マイナビ国際派就職の認知度</p>
<p>9)卒業後の就職活動支援について</p>	<p>就活を継続する既卒者向けの支援の実施有無</p>	<p>既卒者向け支援は卒業後何年間か</p>
<p>10)理想とする、就職活動に最も適したスケジュール</p>	<p>理想の広報開始月</p>	<p>理想の選考開始月</p>
<p>11)自由記述</p>	<p>昨今のインターンシップ事情について 保護者向けガイダンスの内容 特徴的だった保護者からの相談</p>	<p>既卒者向けの就職支援内容 新卒紹介に対する意見 2017年卒・2018年卒の就職支援について</p>

□調査結果 概要

■1)今年の就活スケジュール変更における学生への影響について(P4-5)

2年連続となるスケジュール変更における17年卒学生への影響予測では、大学4年生の授業出席率が「高い」(7.7%)が「低い」(3.8%)を上回り、前年より改善がみられる。自己分析への影響は「前年度並み」が前年比16.2pt増の79.9%、業界・職種・企業研究への影響も「前年度並み」が前年比12.4pt増の65.2%となり、広報活動期間は2ヶ月短くなったものの、そう大きな影響は無かったと捉えているようだ。内定率については、「上がりそう」が前年比4.9pt増の19.8%となる一方、「下がりそう」が前年比15.4pt減の4.2%とよい影響があると予測する割合が高かった。就職活動を理由に卒業を延期する学生数の増減予測も「減少」が前年比6.9pt増の9.9%となっており、学生の見通しは明るいと考える割合が増加している。

■2)就職ガイダンスについて(P6-9)

17年卒学生向けの就職ガイダンス実施回数は、「増やした」が19.7%となり、「前年度並み」の76.0%とあわせ、引き続き微増した。参加人数の増減は全期間を通して「増加」(22.1%)と「減少」(20.8%)が拮抗しており、ほぼ前年と変わらない状況となっている。国公立と私立で比較すると、国公立は「減少」が34.4%だったのに対し、私立は「増加」が23.7%と国公立で減少する傾向にある。ガイダンスの開始時期は、17年卒、18年卒とも7割程度が学部3年生の4月から6月の間に開始すると回答しており、時期変更は無い前提で準備を行っているようだ。

■3)2017年卒向けの求人(票)の受付や学生の個別相談・学校推薦状の発行について (P10-11)

求人(票)の受付社数は、前年より「増加」が52.2%と、引き続き増加傾向にある。人事担当者がキャリアセンターに求人を持参した社数も、43.4%が「増えた」と回答している。学生の延べ相談件数は前年と比較して「増えた」が43.0%と、相談に訪れる学生は増加しており、キャリアセンターの負荷は16年卒と比較して「増えた」が40.4%と、引き続き負担は増加傾向にある。学校推薦の発行時期は、6月上旬に6割(57.2%)が集中しており、4月上旬が11.8%で続いている。

■4)2017年卒向けの採用広報を目的としない企業を招いて実施する業界研究セミナーについて (P12-14)

採用広報を目的としない業界研究セミナーは約7割の大学が実施しており、実施している大学の4分の1が16年卒向けより開催回数を増やしている(24.2%)。開催時期については、17年卒及び来期18年卒ともに、11月開催開始がピークとなっている。広報活動期間が短くなることで事前の業界理解を深めるため、年内から業界研究セミナーを実施する学校が一定数あるようだ。

■5)採用広報を目的とした学内企業説明会について(P15-17)

17年卒の学内企業説明会実施率は9割で、そのうち3割弱は16年卒向けよりも開催回数を「増やす/増やす予定」と回答した。開催時期も「前年並み」が8割と大きな変化は無い。開始時期は、17年卒・18年卒ともに「3月」が7割と、広報活動開始月に合わせて開催している。学生の延べ参加人数は前年より「増えた」が25.4%、「減った」が22.1%と拮抗している。国公立と私立の比較では、国公立で「減った」(32.9%)が「増えた」(26.6%)を上回り、減少傾向にある。延べ参加企業数は平均166.2社参加しているが、そのうち新たに参加した企業は21.0社となっており、学内企業説明会に新たに参加を希望する企業にとっては、引き続き狭き門となっている。

■6)保護者向けガイダンスについて (P18)

保護者向けのガイダンス実施率(毎年実施と不定期に実施の合計)は、全体で61.4%と半数を超えている。国公立では45.9%、私立では65.5%と私立が熱心に実施する傾向にある。開催回数は、ほぼ前年同様の3.16回となっている。内容は主に、自校の就職支援内容や就職実績に加え、最新の就職事情や親から子への就職アドバイス方法などが多い。保護者の参加人数は前年と比較して「増加」(14.1%)が、「減少」(7.6%)を上回っており、関心の高さが伺える。

■7)低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて(P19-20)

低学年次からのキャリア教育の実施時期・回数については、前年に引き続き、早く・多くなる傾向にある。特に大学1年前期に取り入れている学校が、全体の7割近くとなっている。大学で実施もしくは単位認定等を行うインターンシップの有無に関しては、8割の大学が「ある」と回答した。インターンシップの経験が学生の就職活動結果に及ぼすと思うかという回答については「非常に効果がると思う」(29.6%)と、「一定の効果があると思う」(68.0%)と回答しており、その効果を認めている。

■8)グローバル人材について (P21-22)

外国人留学生の平均在籍数は28.1人でそのうち、国内で就職を希望する学生の平均は13.0人となった。就職支援を実施している学校は、全体の58.3%で、実施している支援策は「外国人留学生限定の日本の就職活動に関するガイダンス」が64.4%で最多となった。

■9)卒業後の就職活動支援と今後の就職活動支援について (P23)

既卒学生向けの就職支援を実施している学校は91.5%と幅広く門戸を開いている。また対象とする卒業年数は7割強の学校が「特に期間は決めていない」と回答している。

1) 前年と比較した、貴校の今年の就職活動生(2017年卒)について

大学4年生の授業出席率

	全体(n=417)	国公立(n=79)	私立(n=338)	参考:前年調査
高い	7.7%	5.1%	8.3%	3.2%
前年度並み	88.5%	93.7%	87.3%	78.4%
低い	3.8%	1.3%	4.4%	18.3%

自己分析への影響

	全体(n=452)	国公立(n=84)	私立(n=368)	参考:前年調査
よくできている	2.2%	-	2.7%	6.9%
前年度並み	79.9%	83.3%	79.1%	63.7%
あまりできていない	17.9%	16.7%	18.2%	29.4%

業界・職種・企業研究への影響

	全体(n=451)	国公立(n=86)	私立(n=365)	参考:前年調査
よくできている	3.3%	1.2%	3.8%	7.7%
前年度並み	65.2%	67.4%	64.7%	52.8%
あまりできていない	31.5%	31.4%	31.5%	39.5%

大手志向への影響

	全体(n=456)	国公立(n=90)	私立(n=366)	参考:前年調査
強い	20.8%	21.1%	20.8%	24.4%
前年度並み	69.1%	76.7%	67.2%	72.0%
弱い	10.1%	2.2%	12.0%	3.6%

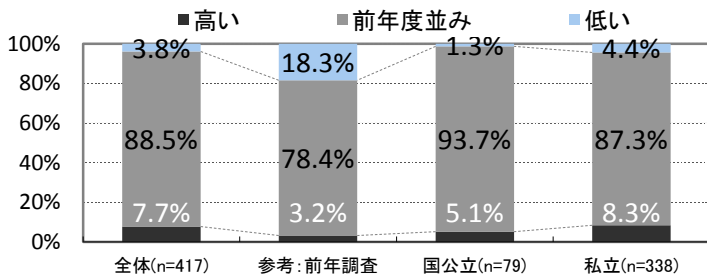
地元(あるいはUターン)就職志向への影響

	全体(n=452)	国公立(n=88)	私立(n=364)
強い	23.5%	9.1%	26.9%
前年度並み	70.1%	85.2%	66.5%
弱い	6.4%	5.7%	6.6%

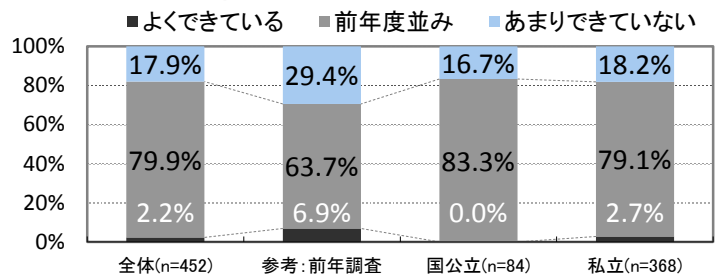
内定率への影響

	全体(n=455)	国公立(n=89)	私立(n=366)	参考:前年調査
上がりそう	19.8%	12.4%	21.6%	14.9%
前年度並み	76.0%	83.1%	74.3%	65.5%
下がりそう	4.2%	4.5%	4.1%	19.6%

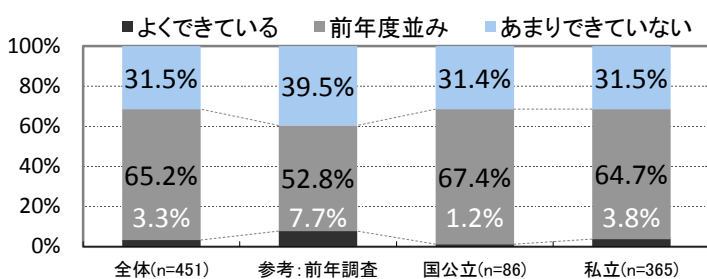
大学4年生の授業出席率



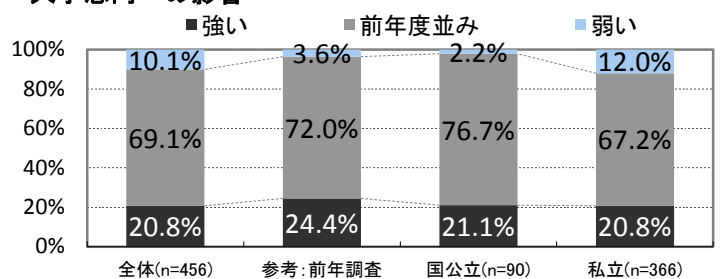
自己分析への影響



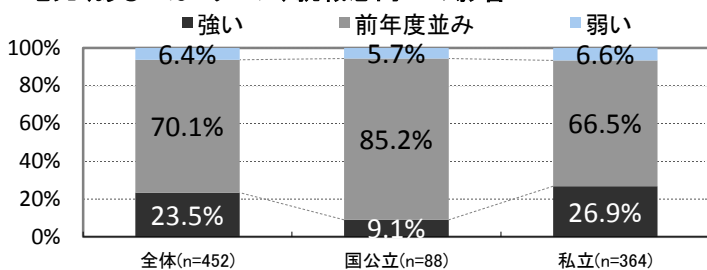
業界・職種・企業研究への影響



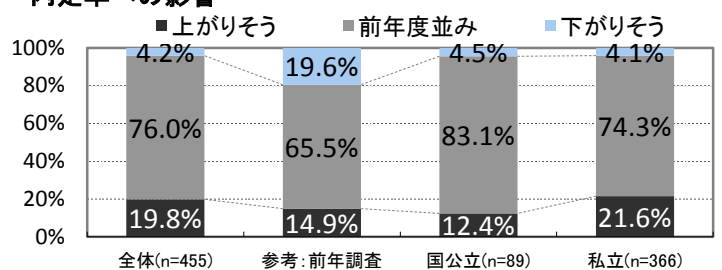
大手志向への影響



地元(あるいはUターン)就職志向への影響



内定率への影響



就職活動を理由に卒業を延期する学生数の増減予測	全体(n=416)	国公立(n=81)	私立(n=335)	参考:前年調査
増加	2.6%	1.2%	3.0%	7.1%
前年度並み	87.5%	93.8%	86.0%	89.9%
減少	9.9%	4.9%	11.0%	3.0%

就職活動を理由に卒業を延期する学生数増減割合予測	全体(n=416)	国公立(n=81)	私立(n=335)
10割以上増加	0.2%	-	0.3%
9割増加	0.2%	1.2%	-
1割増加	0.7%	-	0.9%
増加(割合無回答)	1.4%	-	1.8%
前年度並み(増減はなさそう)	87.5%	93.8%	86.0%
1割減少	2.2%	2.5%	2.1%
2割減少	0.2%	-	0.3%
3割減少	0.2%	-	0.3%
8割減少	0.2%	-	0.3%
減少(割合無回答)	7.0%	2.5%	8.1%

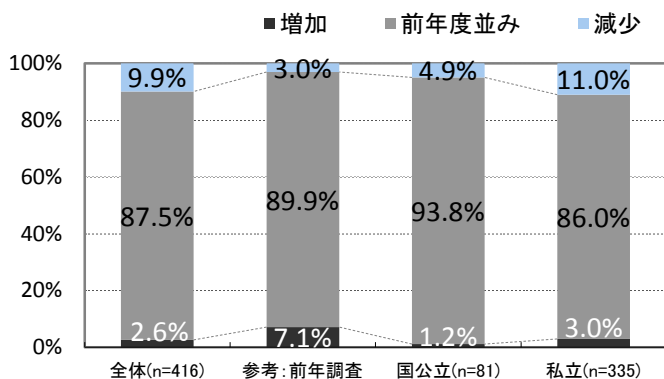
※回答なしの割合は省略

卒業後も就職活動を継続する学生数の増減予測	全体(n=410)	国公立(n=80)	私立(n=330)	参考:前年調査
増加	1.0%	1.3%	0.9%	21.6%
前年度並み	93.7%	93.8%	93.6%	72.8%
減少	5.4%	5.0%	5.5%	5.6%

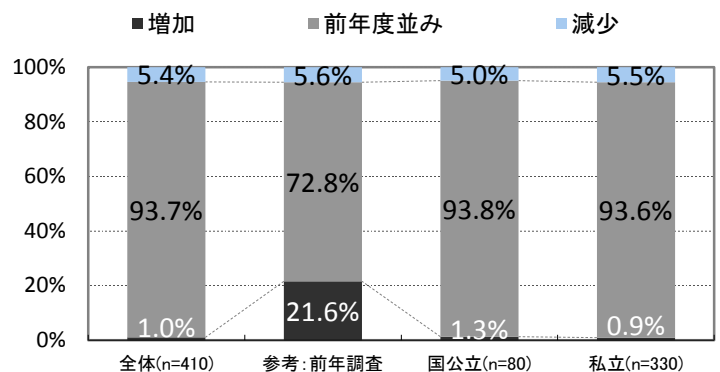
卒業後も就職活動を継続する学生数増減割合予測	全体(n=410)	国公立(n=80)	私立(n=330)
10割以上増加	0.2%	-	0.3%
1割増加	0.5%	1.3%	0.3%
増加(割合無回答)	0.2%	-	0.3%
前年度並み(増減はなさそう)	93.7%	93.8%	93.6%
1割減少	0.7%	1.3%	0.6%
2割減少	0.2%	-	0.3%
減少(割合無回答)	4.4%	3.8%	4.5%

※回答なしの割合は省略

就職活動を理由に卒業を延期する学生数



卒業後も就職活動を継続する学生数



2) 就職ガイダンスについて

17年卒学生の

延べ参加人数の増減【前期】

	全体	国公立	私立
増加	19.8%	18.7%	19.9%
前年度並み	64.3%	56.0%	66.5%
減少	16.0%	25.3%	13.6%

延べ参加人数の増減【夏休み明け～年末】

	全体	国公立	私立
増加	20.7%	17.8%	21.4%
前年度並み	58.7%	51.1%	60.7%
減少	20.8%	31.1%	17.9%

延べ参加人数の増減【年明け】

	全体	国公立	私立
増加	22.4%	17.4%	23.6%
前年度並み	60.0%	56.5%	61.0%
減少	17.6%	26.1%	15.4%

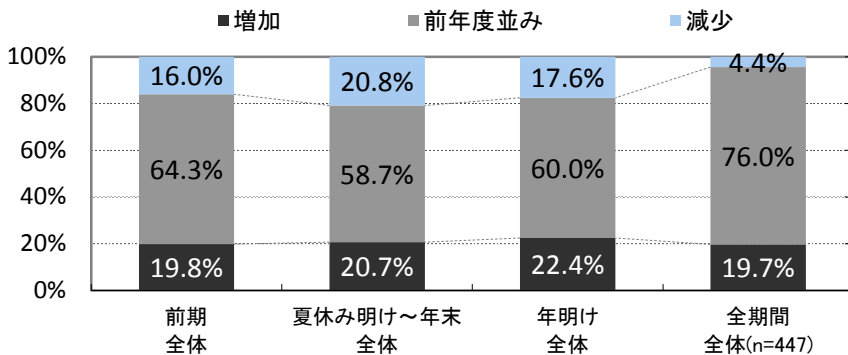
延べ参加人数の増減【全期間】

	全体(n=447)	国公立(n=93)	私立(n=354)	参考:前年調査
増加	22.1%	16.1%	23.7%	20.6%
前年度並み	57.0%	49.5%	59.0%	55.4%
減少	20.8%	34.4%	17.2%	24.0%

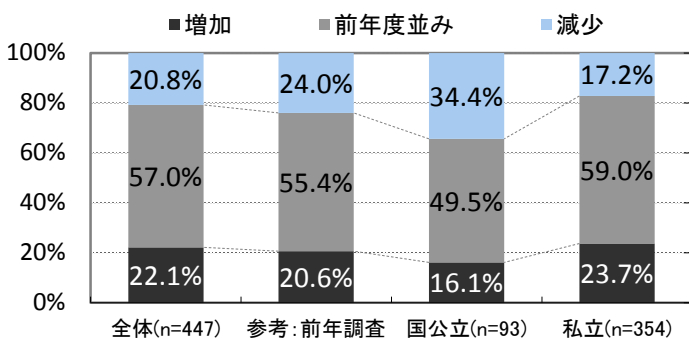
17年卒向け就職ガイダンス開催回数の増減

	全体(n=458)	国公立(n=96)	私立(n=362)	参考:前年調査
増やした	19.7%	29.2%	17.1%	27.4%
前年度並み	76.0%	69.8%	77.6%	68.8%
減らした	4.4%	1.0%	5.2%	3.8%

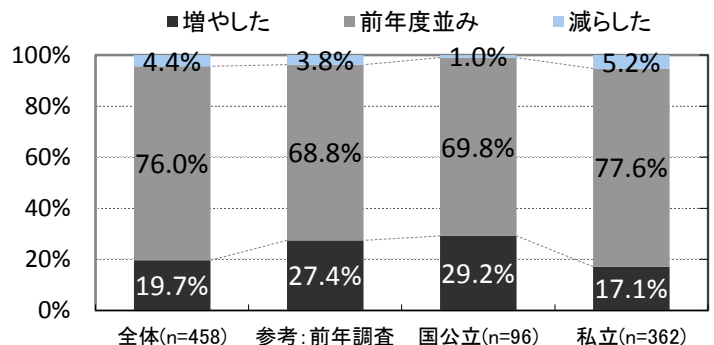
学生の延べ参加人数の増減【開催時期別】



学生の延べ参加人数の増減【全期間】



就職ガイダンス開催回数の増減



17年卒学生の延べ参加人数の増減

延べ参加人数の増減割合【前期】	全体(n=443)	国公立(n=91)	私立(n=352)
10割以上増加	0.5%	1.1%	0.3%
7割増加	0.5%	1.1%	0.3%
5割増加	0.7%	2.2%	0.3%
4割増加	0.9%	-	1.1%
3割増加	1.1%	1.1%	1.1%
2割増加	3.6%	2.2%	4.0%
1割増加	9.3%	7.7%	9.7%
増加(割合無回答)	3.2%	3.3%	3.1%
前年度並み(増減はなさそう)	64.3%	56.0%	66.5%
1割減少	7.0%	11.0%	6.0%
2割減少	2.3%	2.2%	2.3%
3割減少	1.6%	4.4%	0.9%
4割減少	0.2%	1.1%	-
5割減少	0.2%	-	0.3%
6割減少	0.2%	1.1%	-
7割減少	0.2%	-	0.3%
8割減少	0.2%	-	0.3%
減少(割合無回答)	4.1%	5.5%	3.7%

延べ参加人数の増減割合【夏休み明け～年末】	全体(n=441)	国公立(n=90)	私立(n=351)
10割以上増加	0.5%	-	0.6%
7割増加	0.7%	1.1%	0.6%
6割増加	0.2%	-	0.3%
5割増加	0.7%	2.2%	0.3%
4割増加	0.2%	1.1%	-
3割増加	1.6%	1.1%	1.7%
2割増加	4.1%	5.6%	3.7%
1割増加	9.8%	5.6%	10.8%
増加(割合無回答)	2.9%	1.1%	3.4%
前年度並み(増減はなさそう)	58.7%	51.1%	60.7%
1割減少	7.3%	8.9%	6.8%
2割減少	4.1%	7.8%	3.1%
3割減少	1.8%	4.4%	1.1%
4割減少	0.5%	1.1%	0.3%
5割減少	0.7%	-	0.9%
7割減少	0.2%	1.1%	-
8割減少	0.5%	-	0.6%
減少(割合無回答)	5.7%	7.8%	5.1%

延べ参加人数の増減割合【年明け】	全体(n=443)	国公立(n=92)	私立(n=351)
8割増加	0.5%	-	0.6%
7割増加	0.5%	1.1%	0.3%
6割増加	0.2%	1.1%	-
5割増加	0.2%	-	0.3%
4割増加	0.5%	1.1%	0.3%
3割増加	2.3%	1.1%	2.6%
2割増加	5.6%	5.4%	5.7%
1割増加	7.4%	5.4%	8.0%
増加(割合無回答)	5.2%	2.2%	6.0%
前年度並み(増減はなさそう)	60.0%	56.5%	61.0%
1割減少	7.4%	9.8%	6.8%
2割減少	4.1%	6.5%	3.4%
3割減少	1.6%	2.2%	1.4%
4割減少	0.5%	-	0.6%
5割減少	0.2%	1.1%	-
減少(割合無回答)	3.8%	6.5%	3.1%

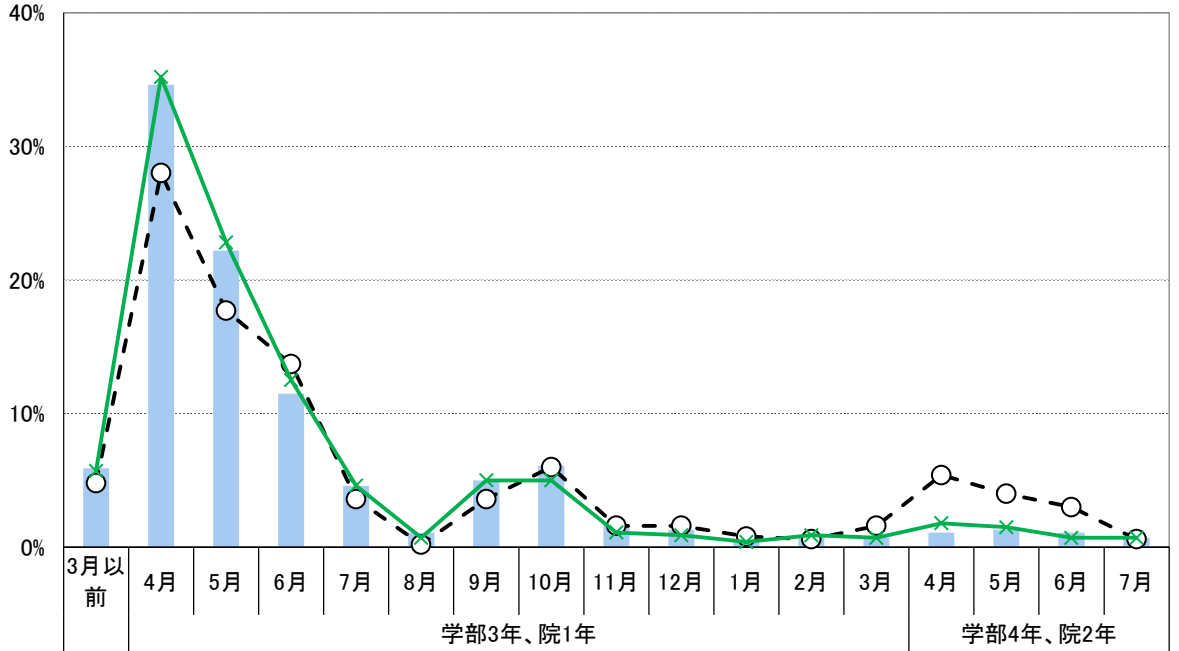
延べ参加人数の増減割合【全期間】	全体(n=447)	国公立(n=93)	私立(n=354)
7割増加	0.7%	2.2%	0.3%
6割増加	0.2%	-	0.3%
5割増加	1.1%	1.1%	1.1%
4割増加	0.2%	-	0.3%
3割増加	1.3%	-	1.7%
2割増加	4.3%	3.2%	4.5%
1割増加	9.4%	5.4%	10.5%
増加(割合無回答)	4.9%	4.3%	5.1%
前年度並み(増減はなさそう)	57.0%	49.5%	59.0%
1割減少	7.8%	11.8%	6.8%
2割減少	4.5%	7.5%	3.7%
3割減少	0.2%	1.1%	-
4割減少	0.9%	2.2%	0.6%
5割減少	0.4%	-	0.6%
9割減少 (前年並みだが割合は変動したと回答)	0.2%	-	0.3%
減少(割合無回答)	6.7%	11.8%	5.4%

就職ガイダンスの開始時期

2017年卒向け 就職ガイダンスの開始時期	全体(n=460)	国公立(n=96)	私立(n=364)	参考:16年卒全体
2015年3月以前	5.9%	3.1%	6.6%	4.8%
2015年4月	34.6%	30.2%	35.7%	28.0%
2015年5月	22.2%	30.2%	20.1%	17.7%
2015年6月	11.5%	16.7%	10.2%	13.7%
2015年7月	4.6%	6.3%	4.1%	3.6%
2015年8月	1.1%	-	1.4%	0.2%
2015年9月	5.0%	1.0%	6.0%	3.6%
2015年10月	6.1%	7.3%	5.8%	6.0%
2015年11月	1.7%	2.1%	1.6%	1.6%
2015年12月	1.3%	-	1.6%	1.6%
2016年1月	0.4%	1.0%	0.3%	0.8%
2016年2月	0.9%	-	1.1%	0.6%
2016年3月	0.7%	1.0%	0.5%	1.6%
2016年4月	1.1%	-	1.4%	5.4%
2016年5月	1.3%	1.0%	1.4%	4.0%
2016年6月	1.1%	-	1.4%	3.0%
2016年7月以降	0.7%	-	0.8%	-

2018年卒向け 就職ガイダンスの開始予定時期	全体(n=457)	国公立(n=96)	私立(n=361)
2016年3月以前	5.7%	2.1%	6.6%
2016年4月	35.2%	32.3%	36.0%
2016年5月	22.8%	27.1%	21.6%
2016年6月	12.5%	16.7%	11.4%
2016年7月	4.6%	5.2%	4.4%
2016年8月	0.7%	-	0.8%
2016年9月	5.0%	2.1%	5.8%
2016年10月	5.0%	7.3%	4.4%
2016年11月	1.1%	2.1%	0.8%
2016年12月	0.9%	-	1.1%
2017年1月	0.4%	1.0%	0.3%
2017年2月	0.9%	-	1.1%
2017年3月	0.7%	1.0%	0.6%
2017年4月	1.8%	2.1%	1.7%
2017年5月	1.5%	1.0%	1.7%
2017年6月	0.7%	-	0.8%
2017年7月以降	0.7%	-	0.8%

就職ガイダンスの開始時期



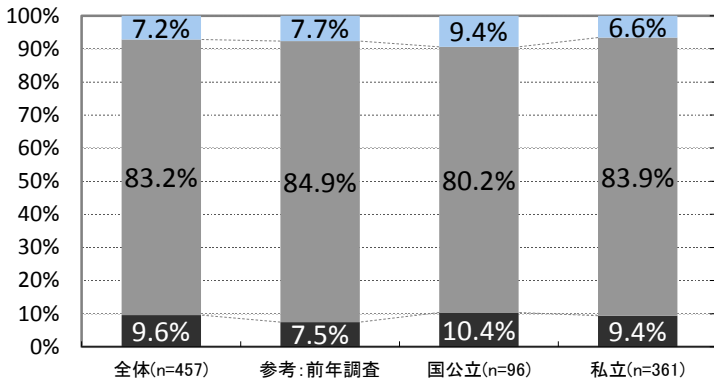
	3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
17年卒	5.9%	34.6%	22.2%	11.5%	4.6%	1.1%	5.0%	6.1%	1.7%	1.3%	0.4%	0.9%	0.7%	1.1%	1.3%	1.1%	0.7%
16年卒※前年調査	4.8%	28.0%	17.7%	13.7%	3.6%	0.2%	3.6%	6.0%	1.6%	1.6%	0.8%	0.6%	1.6%	5.4%	4.0%	3.0%	0.6%
18年卒予定	5.7%	35.2%	22.8%	12.5%	4.6%	0.7%	5.0%	5.0%	1.1%	0.9%	0.4%	0.9%	0.7%	1.8%	1.5%	0.7%	0.7%

17年卒→18年卒の開始時期の変化

	全体(n=457)	国公立(n=96)	私立(n=361)	参考:前年調査
早める予定	9.6%	10.4%	9.4%	7.5%
前年度並みの予定	83.2%	80.2%	83.9%	84.9%
遅くする予定	7.2%	9.4%	6.6%	7.7%

17年卒→18年卒の開始時期の変化

■早める予定 ■前年度並みの予定 ■遅くする予定



3) 求人(票)の受付や学生の個別相談・キャリアセンターの負荷・学校推薦状の発行について

求人(票)の受付社数の増減	全体(n=427)	国公立(n=83)	私立(n=344)	参考:前年調査
増加	52.2%	38.6%	55.5%	55.8%
前年度並み	44.5%	57.8%	41.3%	37.1%
減少	3.3%	3.6%	3.2%	7.1%

求人(票)の受付社数の増減割合	全体(n=427)	国公立(n=83)	私立(n=344)
10割以上増加	0.9%	-	1.2%
8割増加	0.2%	-	0.3%
7割増加	0.2%	-	0.3%
6割増加	-	-	-
5割増加	0.5%	-	0.6%
4割増加	0.7%	1.2%	0.6%
3割増加	5.4%	2.4%	6.1%
2割増加	11.0%	9.6%	11.3%
1割増加	23.0%	15.7%	24.7%
増加(割合無回答)	10.3%	9.6%	10.5%
前年度並み(増減はなさそう)	44.5%	57.8%	41.3%
1割減少	1.9%	3.6%	1.5%
2割減少	0.5%	-	0.6%
3割減少	-	-	-
4割減少	-	-	-
5割減少	0.2%	-	0.3%
減少(割合無回答)	0.7%	-	0.9%

学校から企業に求人(票の送付)を依頼する時期	全体(n=456)	国公立(n=93)	私立(n=363)
早めた	3.3%	-	4.1%
前年並み	71.7%	53.8%	76.3%
遅くした	3.1%	3.2%	3.0%
依頼していない	21.9%	43.0%	16.5%

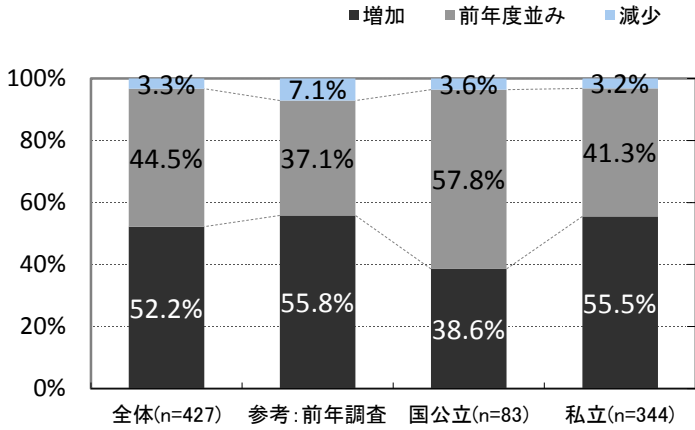
人事担当者がキャリアセンターに求人を直接持参した社数	全体(n=452)	国公立(n=92)	私立(n=360)
増えた	43.4%	32.6%	46.1%
前年度並み	53.8%	63.0%	51.4%
減った	2.9%	4.3%	2.5%

キャリアセンターの負荷は16年卒と比べて	全体(n=455)	国公立(n=92)	私立(n=363)	参考:前年調査
増えた	40.4%	32.6%	42.4%	62.7%
影響ない	58.9%	66.3%	57.0%	36.5%
減った	0.7%	1.1%	0.6%	0.8%

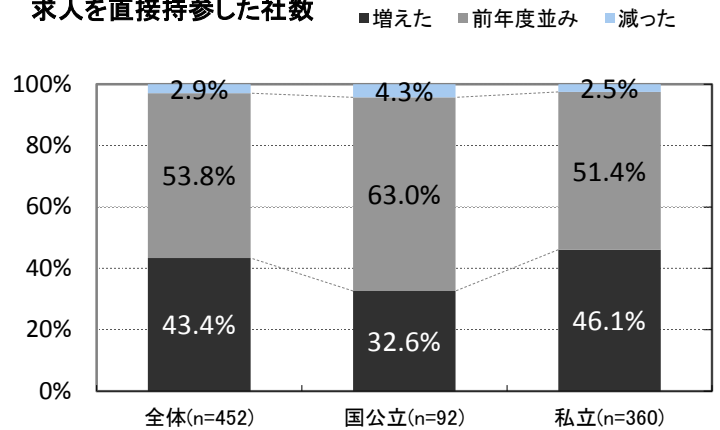
相談員の人数は16年卒と比べて	全体(n=458)	国公立(n=93)	私立(n=365)	参考:前年調査
増やした	11.6%	10.8%	11.8%	11.9%
前年度並み	82.8%	86.0%	81.9%	82.7%
減らした	5.7%	3.2%	6.3%	5.4%

学生の延べ相談件数は16年卒と比べて	全体(n=453)	国公立(n=91)	私立(n=362)	参考:前年調査
増えた	43.0%	40.7%	43.6%	42.1%
前年度並み	50.6%	53.8%	49.7%	46.4%
減った	6.4%	5.5%	6.6%	11.5%

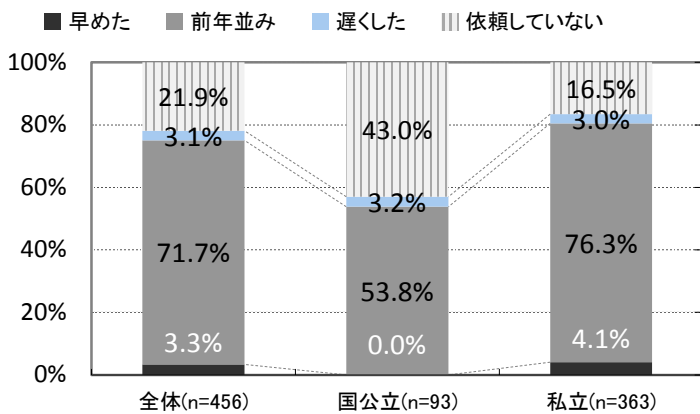
求人(票)受付社数の増減



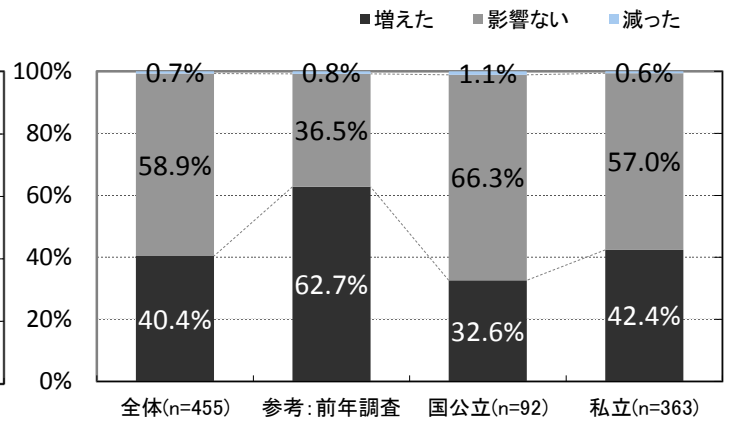
人事担当者がキャリアセンターに
求人を持参した社数



学校から企業に求人(票の送付)を依頼する時期



キャリアセンターの負荷



※推薦状を発行する予定の学校のみ集計

【理系】学校推薦状発行開始時期

	全体(n=152)	国公立(n=40)	私立(n=112)
2016年2月以前	-	-	-
3月	上旬	7.2%	10.0%
	中旬	2.0%	2.5%
	下旬	2.6%	-
4月	上旬	11.8%	10.0%
	中旬	1.3%	-
	下旬	2.6%	5.0%
5月	上旬	3.3%	5.0%
	中旬	1.3%	-
	下旬	0.7%	-
6月	上旬	57.2%	62.5%
	中旬	0.7%	-
	下旬	1.3%	-
7月以降	7.9%	5.0%	8.9%

4)2017年卒向けの採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナーについて

採用広報を目的としない業界研究セミナーの実施	全体(n=461)	国公立(n=94)	私立(n=367)	参考:前年調査
実施している	72.7%	81.9%	70.3%	71.6%
実施していない	27.3%	18.1%	29.7%	28.4%

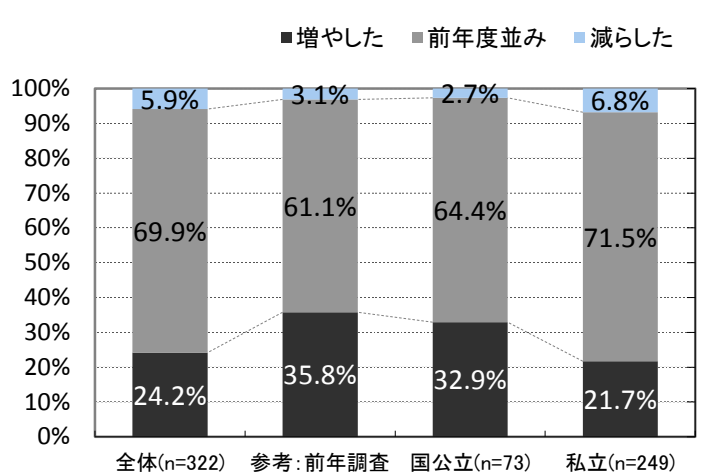
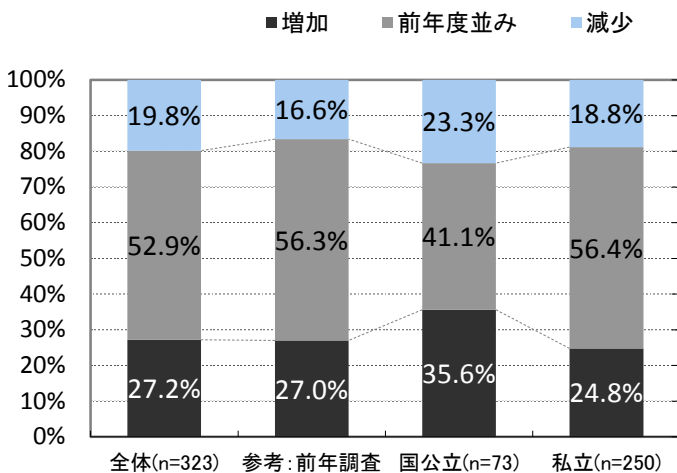
17年卒学生の延べ参加人数は16年卒と比較して	全体(n=323)	国公立(n=73)	私立(n=250)	参考:前年調査
増加	27.2%	35.6%	24.8%	27.0%
前年度並み	52.9%	41.1%	56.4%	56.3%
減少	19.8%	23.3%	18.8%	16.6%

17年卒学生の延べ参加人数の増減の割合	全体(n=323)	国公立(n=73)	私立(n=250)
10割以上増加	0.3%	-	0.4%
9割増加	-	-	-
8割増加	0.3%	1.4%	-
7割増加	0.3%	-	0.4%
6割増加	0.3%	1.4%	-
5割増加	1.5%	1.4%	1.6%
4割増加	0.3%	1.4%	-
3割増加	3.4%	5.5%	2.8%
2割増加	4.3%	4.1%	4.4%
1割増加	9.3%	5.5%	10.4%
増加(割合無回答)	7.1%	15.1%	4.8%
前年度並み(増減はなさそう)	52.9%	41.1%	56.4%
1割減少	5.9%	8.2%	5.2%
2割減少	3.4%	1.4%	4.0%
3割減少	3.7%	6.8%	2.8%
4割減少	0.6%	2.7%	-
5割減少	0.9%	-	1.2%
減少(割合無回答)	5.3%	4.1%	5.6%

業界研究セミナー開催回数(回数)は16年卒と比べて	全体(n=322)	国公立(n=73)	私立(n=249)	参考:前年調査
増やした	24.2%	32.9%	21.7%	35.8%
前年度並み	69.9%	64.4%	71.5%	61.1%
減らした	5.9%	2.7%	6.8%	3.1%

学生の参加人数は前年より

業界研究セミナー開催回数は前年より



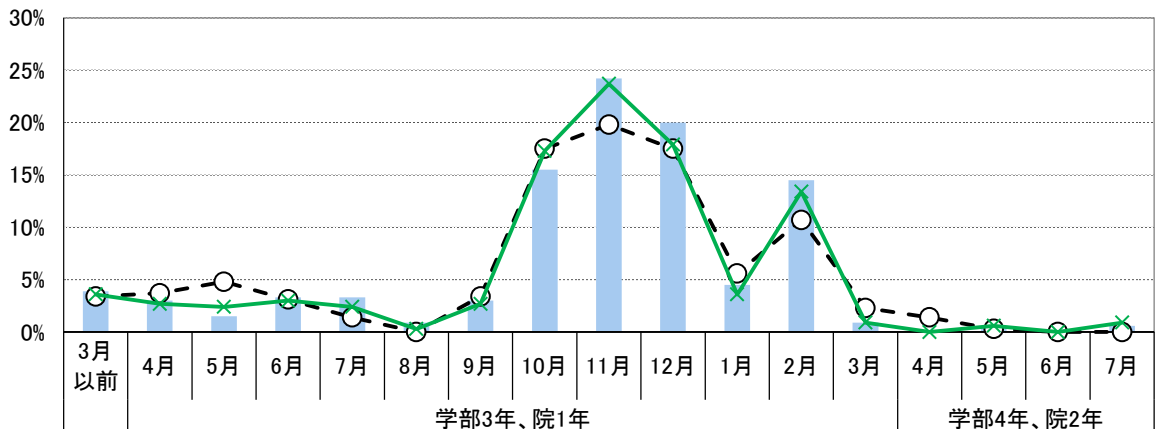
※前年調査

2017年卒向け業界研究セミナーの開始時期	全体(n=330)	国公立(n=76)	私立(n=254)	参考:16年卒※
2015年3月以前	3.9%	3.9%	3.9%	3.4%
2015年4月	3.0%	2.6%	3.1%	3.7%
2015年5月	1.5%	3.9%	0.8%	4.8%
2015年6月	3.3%	2.6%	3.5%	3.1%
2015年7月	3.3%	2.6%	3.5%	1.4%
2015年8月	0.9%	-	1.2%	-
2015年9月	3.0%	1.3%	3.5%	3.4%
2015年10月	15.5%	21.1%	13.8%	17.5%
2015年11月	24.2%	32.9%	21.7%	19.8%
2015年12月	20.0%	14.5%	21.7%	17.5%
2016年1月	4.5%	7.9%	3.5%	5.6%
2016年2月	14.5%	5.3%	17.3%	10.7%
2016年3月	0.9%	1.3%	0.8%	2.3%
2016年4月	-	-	-	1.4%
2016年5月	0.6%	-	0.8%	0.3%
2016年6月	-	-	-	-
2016年7月以降	0.6%	-	0.8%	-

※前年調査

2018年卒向け業界研究セミナーの開始時期	全体(n=329)	国公立(n=76)	私立(n=253)	参考:17年卒※
2016年3月以前	3.6%	1.3%	4.3%	3.6%
2016年4月	2.7%	1.3%	3.2%	3.9%
2016年5月	2.4%	6.6%	1.2%	4.8%
2016年6月	3.0%	1.3%	3.6%	3.9%
2016年7月	2.4%	-	3.2%	0.9%
2016年8月	0.3%	-	0.4%	-
2016年9月	2.7%	1.3%	3.2%	3.0%
2016年10月	17.3%	23.7%	15.4%	19.3%
2016年11月	23.7%	34.2%	20.6%	19.6%
2016年12月	17.9%	10.5%	20.2%	17.2%
2017年1月	3.6%	7.9%	2.4%	5.4%
2017年2月	13.4%	6.6%	15.4%	8.1%
2017年3月	0.9%	1.3%	0.8%	2.7%
2017年4月	-	-	-	1.2%
2017年5月	0.6%	-	0.8%	0.6%
2017年6月	-	-	-	-
2017年7月以降	0.9%	-	1.2%	-
実施する予定だが、時期は全く未定	4.3%	3.9%	4.3%	-

業界研究セミナーの開始時期



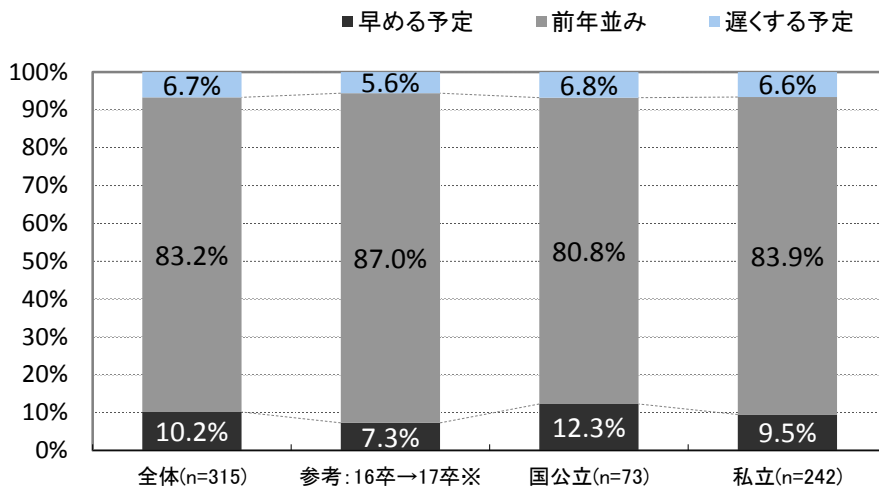
	3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
17年卒	3.9%	3.0%	1.5%	3.3%	3.3%	0.9%	3.0%	15.5%	24.2%	20.0%	4.5%	14.5%	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%
16年卒※前年調査	3.4%	3.7%	4.8%	3.1%	1.4%	0.0%	3.4%	17.5%	19.8%	17.5%	5.6%	10.7%	2.3%	1.4%	0.3%	0.0%	0.0%
18年卒予定	3.6%	2.7%	2.4%	3.0%	2.4%	0.3%	2.7%	17.3%	23.7%	17.9%	3.6%	13.4%	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%	0.9%

業界研究セミナー

※前年調査

17年卒と比べた18年卒の開始時期の変更予定	全体(n=315)	国公立(n=73)	私立(n=242)	参考:16卒→17卒※
早める予定	10.2%	12.3%	9.5%	7.3%
前年並み	83.2%	80.8%	83.9%	87.0%
遅くする予定	6.7%	6.8%	6.6%	5.6%

業界研究セミナー開始時期変更予定



5)採用広報を目的とした学内企業説明会について

採用広報を目的とした学内企業説明会の実施	全体(n=453)	国公立(n=93)	私立(n=360)	参考:前年調査
実施している	90.3%	93.5%	89.4%	81.9%
実施していない	9.7%	6.5%	10.6%	18.1%

17年卒学生の延べ参加人数は16年卒と比較して	全体(n=390)	国公立(n=79)	私立(n=311)
増えた	25.4%	26.6%	25.1%
前年並み	52.6%	40.5%	55.6%
減った	22.1%	32.9%	19.3%

17年卒学生の延べ参加人数の増減の割合	全体(n=390)	国公立(n=79)	私立(n=311)
10割以上増加	1.0%	1.3%	1.0%
9割増加	-	-	-
8割増加	0.3%	-	0.3%
7割増加	0.3%	-	0.3%
6割増加	0.3%	1.3%	-
5割増加	0.3%	-	0.3%
4割増加	0.5%	1.3%	0.3%
3割増加	2.6%	2.5%	2.6%
2割増加	4.4%	2.5%	4.8%
1割増加	8.7%	8.9%	8.7%
増加(割合無回答)	7.2%	8.9%	6.8%
前年度並み(増減はなさそう)	52.6%	40.5%	55.6%
1割減少	5.4%	8.9%	4.5%
2割減少	7.4%	11.4%	6.4%
3割減少	1.8%	3.8%	1.3%
4割減少	0.5%	2.5%	-
5割減少	0.5%	1.3%	0.3%
減少(割合無回答)	6.4%	5.1%	6.8%

17年卒向け開催回数(日数)は16年卒と比べて	全体(n=402)	国公立(n=83)	私立(n=319)	参考:前年調査
増やした/増やす予定	27.6%	25.3%	28.2%	38.2%
前年度並み	66.2%	65.1%	66.5%	57.1%
減らした/減らす予定	6.2%	9.6%	5.3%	4.7%

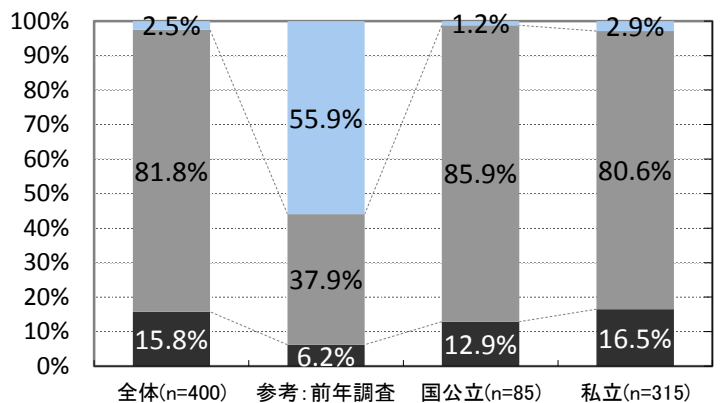
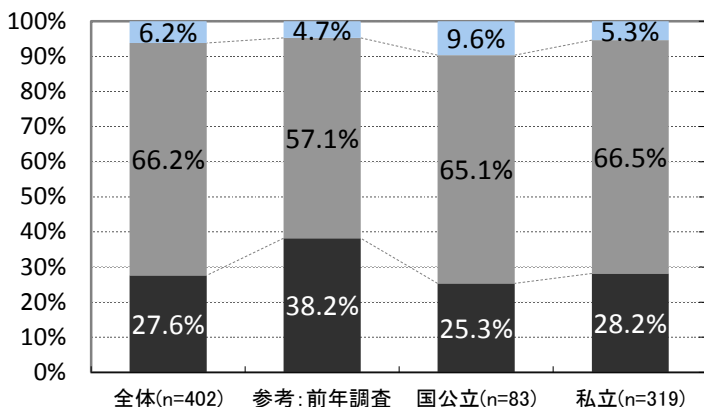
17年卒向け開催時期は16年卒と比べて	全体(n=400)	国公立(n=85)	私立(n=315)	参考:前年調査
早めた/早める予定	15.8%	12.9%	16.5%	6.2%
前年度並み	81.8%	85.9%	80.6%	37.9%
遅らせた/遅らせる予定	2.5%	1.2%	2.9%	55.9%

学内企業説明会開催回数(日数)16年卒と比べて

学内企業説明会開催時期16年卒と比べて

■増やした/増やす予定 ■前年度並み ■減らした/減らす予定

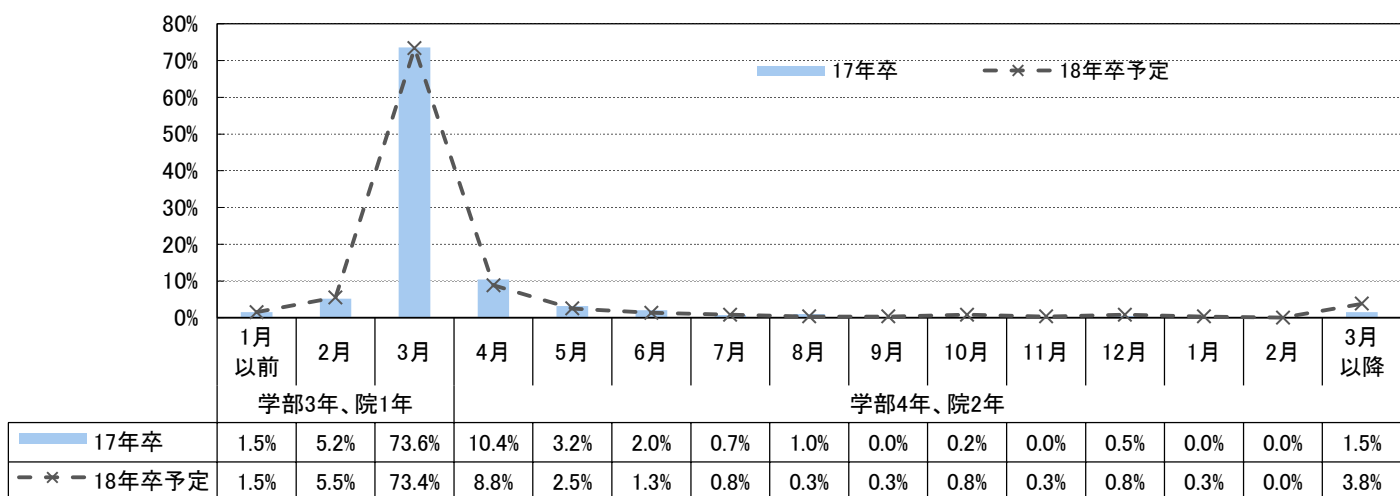
■早めた/早める予定 ■前年度並み ■遅らせた/遅らせる予定



17年卒向け学内企業説明会の開始時期	全体(n=402)	国公立(n=86)	私立(n=316)
2016年1月以前	1.5%	1.2%	1.6%
2016年2月	5.2%	3.5%	5.7%
2016年3月	73.6%	83.7%	70.9%
2016年4月	10.4%	3.5%	12.3%
2016年5月	3.2%	3.5%	3.2%
2016年6月	2.0%	1.2%	2.2%
2016年7月	0.7%	-	0.9%
2016年8月	1.0%	2.3%	0.6%
2016年9月	-	-	-
2016年10月	0.2%	-	0.3%
2016年11月	-	-	-
2016年12月	0.5%	-	0.6%
2017年1月	-	-	-
2017年2月	-	-	-
2017年3月以降	1.5%	1.2%	1.6%

18年卒向け学内企業説明会の開始予定時期	全体(n=398)	国公立(n=84)	私立(n=314)
2017年1月以前	1.5%	1.2%	1.6%
2017年2月	5.5%	3.6%	6.1%
2017年3月	73.4%	85.7%	70.1%
2017年4月	8.8%	4.8%	9.9%
2017年5月	2.5%	3.6%	2.2%
2017年6月	1.3%	-	1.6%
2017年7月	0.8%	-	1.0%
2017年8月	0.3%	-	0.3%
2017年9月	0.3%	-	0.3%
2017年10月	0.8%	-	1.0%
2017年11月	0.3%	-	0.3%
2017年12月	0.8%	-	1.0%
2018年1月	0.3%	-	0.3%
2018年2月	-	-	-
2018年3月以降	3.8%	1.2%	4.5%

学内企業説明会の開始時期



18年卒向け開始時期は17年卒と比べて	全体(n=397)	国公立(n=84)	私立(n=313)
早める予定	3.8%	2.4%	4.2%
前年度並み	91.7%	96.4%	90.4%
遅らせる予定	4.5%	1.2%	5.4%

	全体(n=352)	国公立(n=74)	私立(n=278)
17年卒向けのこれまでの延べ参加企業数平均	166.2	168.7	165.5

	全体(n=281)	国公立(n=56)	私立(n=225)
内、2017年卒向けから新規参入の企業数平均	21.0	21.3	21.0

	全体(n=272)	国公立(n=54)	私立(n=218)
新規参入企業数の全参加企業数に対する割合平均	14.7%	13.2%	15.2%

※延べ参加企業数と新規参入企業数の両方に回答した学校で集計

参加企業数の分布	全体(n=352)	国公立(n=74)	私立(n=278)
100社未満	50.6%	41.9%	52.9%
100～199社	20.2%	25.7%	18.7%
200～299社	11.4%	13.5%	10.8%
300～399社	7.4%	8.1%	7.2%
400～499社	2.8%	5.4%	2.2%
500～599社	2.6%	5.4%	1.8%
600～699社	2.3%	-	2.9%
700～799社	0.6%	-	0.7%
800社以上	2.3%	-	2.9%

新規参入企業数の分布	全体(n=281)	国公立(n=56)	私立(n=225)
10社未満	38.8%	28.6%	41.3%
10～19社	22.8%	28.6%	21.3%
20～29社	14.2%	12.5%	14.7%
30～39社	10.3%	16.1%	8.9%
40～49社	4.3%	7.1%	3.6%
50～59社	3.9%	1.8%	4.4%
60～99社	1.4%	-	1.8%
100社以上	4.3%	5.4%	4.0%

新規参入企業数の全参加企業数に対する割合分布	全体(n=272)	国公立(n=54)	私立(n=218)
10%未満	27.2%	29.6%	26.6%
10%以上20%未満	32.4%	37.0%	31.2%
20%以上30%未満	16.2%	16.7%	16.1%
30%以上40%未満	6.3%	1.9%	7.3%
40%以上50%未満	3.7%	-	4.6%
50%以上60%未満	5.1%	3.7%	5.5%
60%以上70%未満	2.9%	5.6%	2.3%
70%以上80%未満	1.8%	3.7%	1.4%
80%以上90%未満	1.5%	-	1.8%
90%以上100%未満	-	-	-
100%	2.9%	1.9%	3.2%

※延べ参加企業数と新規参入企業数の両方に回答した学校で集計

6) 保護者向けガイダンスについて

保護者向けガイダンスの実施	全体(n=464)	国公立(n=96)	私立(n=368)
毎年実施している	58.2%	41.7%	62.5%
毎年ではないが不定期に実施している	3.2%	4.2%	3.0%
実施していない	38.6%	54.2%	34.5%

2016年度の実施回数は2015年度と比べて	全体(n=281)	国公立(n=43)	私立(n=238)	参考: 前年調査
増やした/増やす予定	3.2%	-	3.8%	5.8%
前年度並み	95.0%	95.3%	95.0%	92.5%
減らした/減らす予定	0.7%	2.3%	0.4%	1.7%
今年度実施しない	1.1%	2.3%	0.8%	

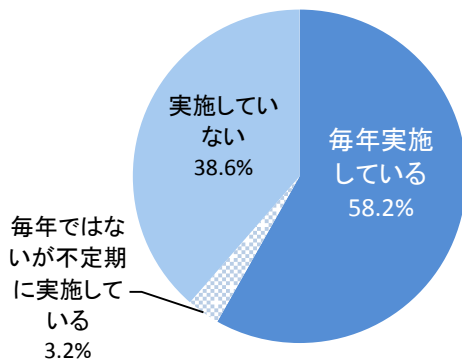
保護者向けガイダンスの内容	全体(n=262)	国公立(n=39)	私立(n=223)	参考: 前年調査
自校の就職実績報告	88.9%	89.7%	88.8%	91.0%
自校の就職支援内容	92.4%	92.3%	92.4%	95.5%
最新の就職事情	89.7%	84.6%	90.6%	88.3%
親から子への就活アドバイス方法	71.0%	56.4%	73.5%	65.5%
親としての役割や役目	67.2%	48.7%	70.4%	69.1%
就職に関する基礎情報(スケジュールや就活関連ワード)	77.9%	61.5%	80.7%	78.0%
人事担当者の考え方や選考基準	42.7%	28.2%	45.3%	39.5%

※前年調査

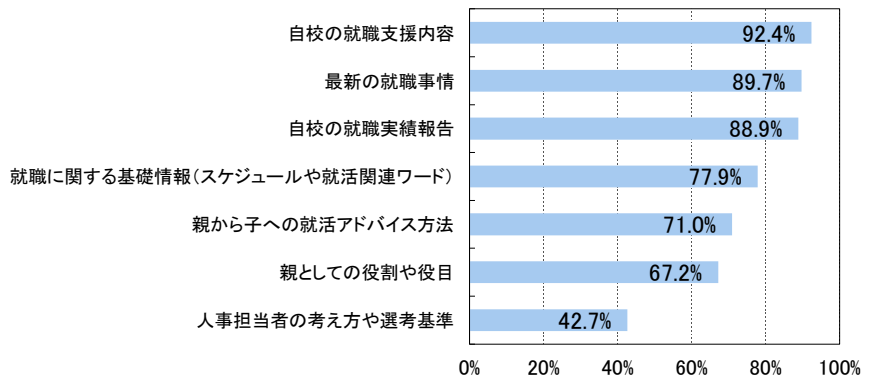
2015年度保護者向けガイダンスの延べ実施回数	全体(n=274)	国公立(n=40)	私立(n=234)	参考: 2014年度※
年間平均実施回数	3.16	1.43	3.46	3.12

2016年度保護者向けガイダンスの延べ実施回数	全体(n=272)	国公立(n=39)	私立(n=233)
年間平均実施回数 (予定を含む)	3.11	1.44	3.39

保護者向けガイダンス実施の有無



保護者向けガイダンスの内容



2015年度の延べ参加人数は前回実施年度に比べて	全体(n=249)	国公立(n=35)	私立(n=214)
増加	14.1%	22.9%	12.6%
前年度並み	78.3%	74.3%	79.0%
減少	7.6%	2.9%	8.4%

参加人数の増減の割合	全体(n=249)	国公立(n=35)	私立(n=214)
6割増加	0.8%	2.9%	0.5%
5割増加	0.4%	2.9%	-
4割増加	0.8%	2.9%	0.5%
3割増加	0.4%	-	0.5%
2割増加	4.4%	2.9%	4.7%
1割増加	3.6%	5.7%	3.3%
増加(割合無回答)	3.6%	5.7%	3.3%
前年度並み(増減はなさそう)	78.3%	74.3%	79.0%
1割減少	3.2%	-	3.7%
2割減少	1.2%	-	1.4%
3割減少	0.4%	-	0.5%
4割減少	-	-	-
5割減少	0.4%	2.9%	-
減少(割合無回答)	2.4%	-	2.8%

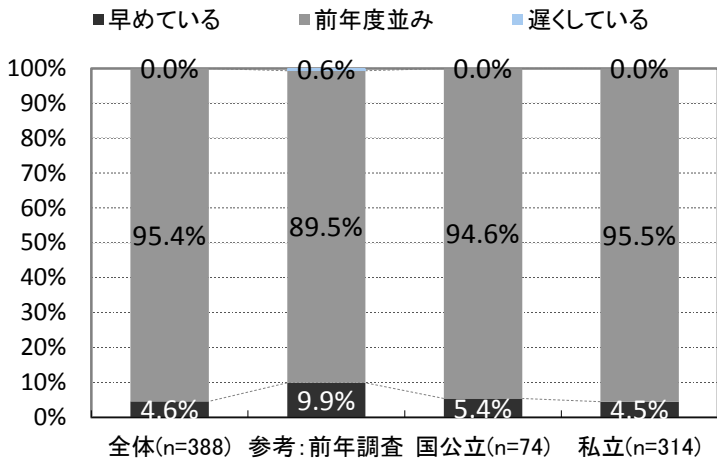
7)低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて

キャリア教育(正課)を実施しているか	全体(n=461)	国公立(n=95)	私立(n=366)
はい	85.7%	78.9%	87.4%
いいえ	14.3%	21.1%	12.6%

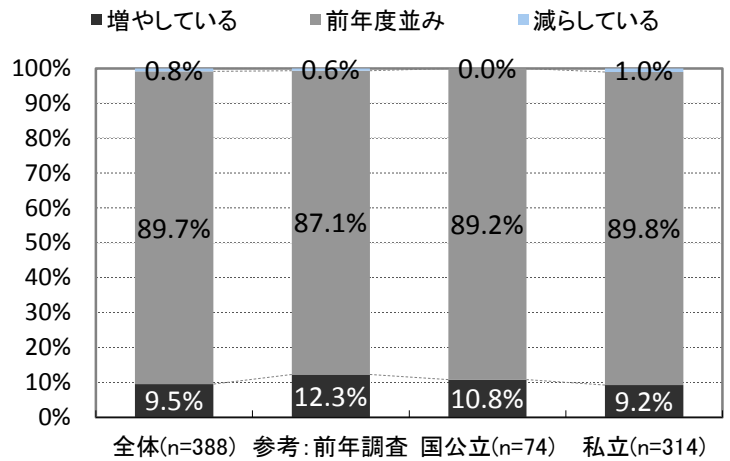
キャリア教育の実施時期	全体(n=388)	国公立(n=74)	私立(n=314)	参考:前年調査
早めている	4.6%	5.4%	4.5%	9.9%
前年度並み	95.4%	94.6%	95.5%	89.5%
遅くしている	-	-	-	0.6%

キャリア教育の回数の増減	全体(n=388)	国公立(n=74)	私立(n=314)	参考:前年調査
増やしている	9.5%	10.8%	9.2%	12.3%
前年度並み	89.7%	89.2%	89.8%	87.1%
減らしている	0.8%	-	1.0%	0.6%

キャリア教育の実施時期



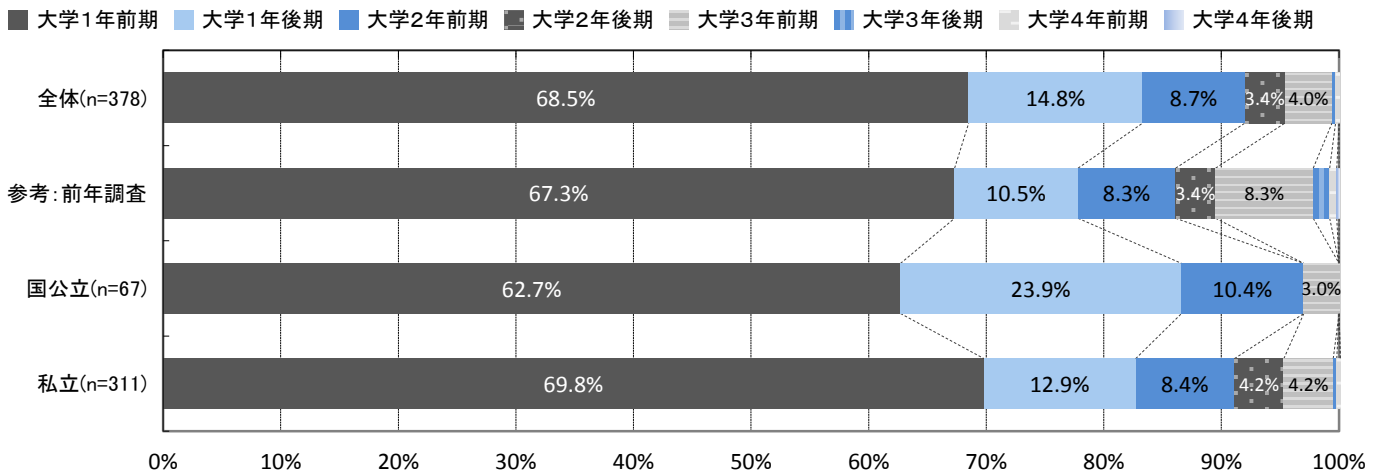
キャリア教育の回数の増減



キャリア教育の開始時期

キャリア教育の開始時期	全体(n=378)	国公立(n=67)	私立(n=311)	参考:前年調査
1年次前期	68.5%	62.7%	69.8%	67.3%
1年次後期	14.8%	23.9%	12.9%	10.5%
2年次前期	8.7%	10.4%	8.4%	8.3%
2年次後期	3.4%	-	4.2%	3.4%
3年次前期	4.0%	3.0%	4.2%	8.3%
3年次後期	0.3%	-	0.3%	1.4%
4年次前期	0.3%	-	0.3%	0.6%
4年次後期	-	-	-	0.2%

キャリア教育の開始時期



大学で実施する、単位認定をしている

インターンシップはあるか

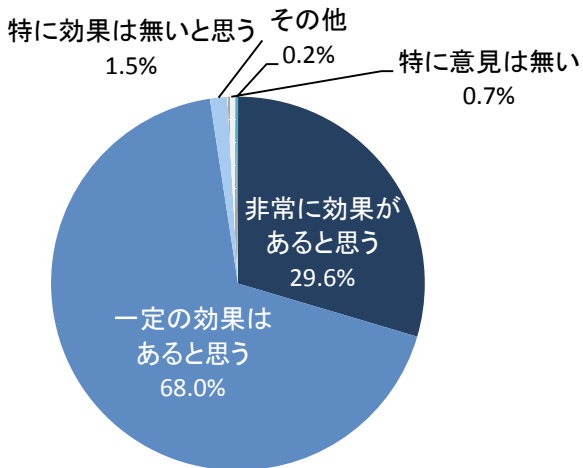
	全体(n=451)	国公立(n=94)	私立(n=357)
はい	82.3%	83.0%	82.1%
いいえ	17.7%	17.0%	17.9%

インターンシップの経験は、学生の就職活動の

結果に対してよい影響を及ぼすか

	全体(n=456)	国公立(n=94)	私立(n=362)
非常に効果が ある と思う	29.6%	33.0%	28.7%
一定の 効果は あると思う	68.0%	66.0%	68.5%
特に 効果は 無いと思う	1.5%	-	1.9%
特に 意見は 無い	0.7%	-	0.8%
その他	0.2%	1.1%	-

インターンシップの経験は、学生の就職活動の結果に対してよい影響を及ぼすか



8)グローバル人材について

	全体(n=286)	国公立(n=45)	私立(n=241)
外国人留学生の人数平均(就職該当学年)	28.1	42.5	25.4

外国人留学生の人数の分布	全体(n=286)	国公立(n=45)	私立(n=241)
0人	27.3%	22.2%	28.2%
1～9人	28.0%	24.4%	28.6%
10～29人	22.4%	20.0%	22.8%
30～49人	6.3%	11.1%	5.4%
50～99人	9.1%	11.1%	8.7%
100人以上	7.0%	11.1%	6.2%

	全体(n=224)	国公立(n=28)	私立(n=196)
外国人留学生の国内就職希望者数平均	13.0	14.8	12.7

外国人留学生の就職希望者数の分布	全体(n=224)	国公立(n=28)	私立(n=196)
0人	32.6%	39.3%	31.6%
1～9人	37.5%	32.1%	38.3%
10～29人	16.5%	14.3%	16.8%
30～49人	7.6%	7.1%	7.7%
50～99人	4.0%	3.6%	4.1%
100人以上	1.8%	3.6%	1.5%

	全体(n=154)	国公立(n=19)	私立(n=135)
就職希望者数の就職該当学年人数に対する割合平均	59.3%	69.3%	57.9%

※就職該当学年の外国人留学生数を1人以上と回答し、かつ就職希望者数にも回答した学校で集計

就職希望者数の就職該当学年人数に対する割合分布	全体(n=154)	国公立(n=19)	私立(n=135)
就職希望者なし	3.2%	10.5%	2.2%
10%未満	-	-	-
10%以上20%未満	1.9%	-	2.2%
20%以上30%未満	8.4%	5.3%	8.9%
30%以上40%未満	8.4%	10.5%	8.1%
40%以上50%未満	7.1%	10.5%	6.7%
50%以上60%未満	11.0%	10.5%	11.1%
60%以上70%未満	12.3%	5.3%	13.3%
70%以上80%未満	6.5%	-	7.4%
80%以上90%未満	7.8%	-	8.9%
90%以上100%未満	1.3%	-	1.5%
100%	31.8%	47.4%	29.6%

※就職該当学年の外国人留学生数を1人以上と回答し、かつ就職希望者数にも回答した学校で集計

外国人留学生向けの就職支援を実施しているか	全体(n=429)	国公立(n=90)	私立(n=339)	参考:前年調査
実施している	58.3%	54.4%	59.3%	53.8%
過去には実施していないが、今年度実施予定はある	1.4%	1.1%	1.5%	3.6%
実施しておらず、当座の実施予定もない	40.3%	44.4%	39.2%	42.5%

実施しているプログラムの内容	全体(n=250)	国公立(n=48)	私立(n=202)	参考:前年調査
外国人留学生限定の日本の就職活動に関するガイダンス	64.4%	68.8%	63.4%	66.7%
外国人留学生向け学内合同企業説明会	13.6%	14.6%	13.4%	11.9%
外国人留学生担当職員による個別相談	45.2%	39.6%	46.5%	39.6%
模擬面接	50.4%	56.3%	49.0%	53.3%
エントリーシート添削	58.4%	54.2%	59.4%	61.8%
就職活動マナー講座	34.4%	35.4%	34.2%	35.8%
日本語講座	11.2%	14.6%	10.4%	13.3%
外国人留学生向けの求人を見やすくまとめる	32.0%	35.4%	31.2%	27.7%
就職情報サイト登録会	15.2%	12.5%	15.8%	-
その他	9.6%	6.3%	10.4%	7.7%

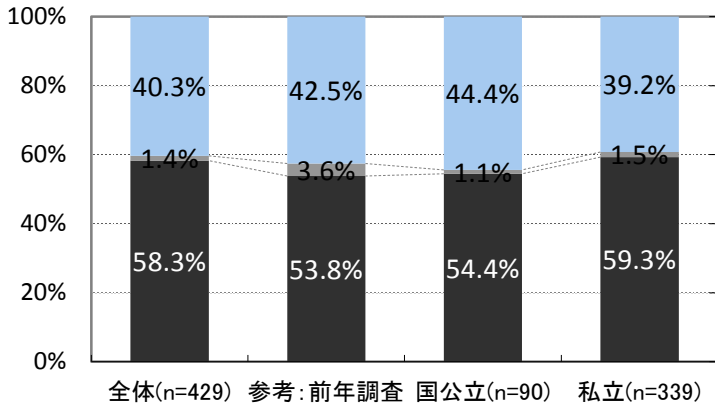
日本人留学経験者への特別な就職支援の実施	全体(n=398)	国公立(n=83)	私立(n=315)
実施している	16.3%	14.5%	16.8%
今年度初めて行う予定がある	1.3%	4.8%	0.3%
実施しておらず、当座の実施予定もない	82.4%	80.7%	82.9%

日本人留学経験者に実施しているプログラム	全体(n=66)	国公立(n=13)	私立(n=53)
留学出発前の就職ガイダンス	66.7%	53.8%	69.8%
留学中の情報提供(メール等)	13.6%	23.1%	11.3%
留学帰国後の就職ガイダンス	7.6%	-	9.4%
専任担当による個別相談	7.6%	15.4%	5.7%
英文レジュメの指導	1.5%	-	1.9%
その他	3.0%	7.7%	1.9%

マイナビ国際派就職を知っているか	全体(n=378)	国公立(n=77)	私立(n=301)
はい	50.8%	53.2%	50.2%
いいえ	49.2%	46.8%	49.8%

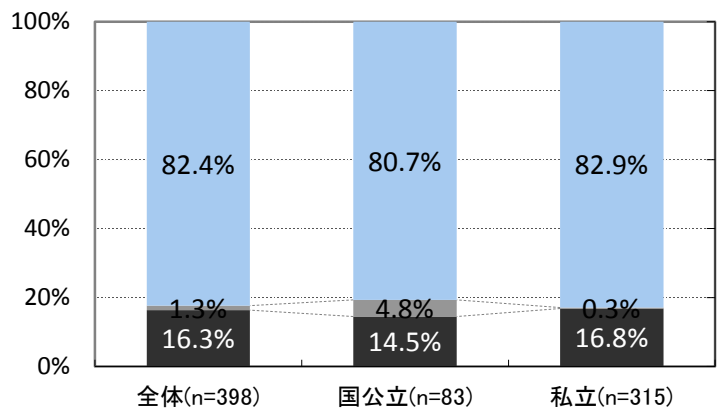
外国人留学生向けの就職支援を実施しているか

- 実施しておらず、当座の実施予定もない
- 過去には実施していないが、今年度実施予定はある
- 実施している



日本人留学経験者への特別な就職支援の実施

- 実施しておらず、当座の実施予定もない
- 今年度初めて行う予定がある
- 実施している



9)卒業後の就職活動支援について

就活を継続する既卒者向けの支援の実施をしているか	全体(n=457)	国公立(n=94)	私立(n=363)
はい	91.5%	86.2%	92.8%
いいえ	8.5%	13.8%	7.2%

既卒者向け支援は卒業後何年間行っているか	全体(n=416)	国公立(n=81)	私立(n=335)
特に期間は定めていない	76.2%	71.6%	77.3%
1年未満	1.7%	-	2.1%
1年間	4.8%	2.5%	5.4%
2年間	0.7%	-	0.9%
3年間	13.7%	24.7%	11.0%
4年間	0.5%	1.2%	0.3%
5年間	1.2%	-	1.5%
6年間	-	-	-
7年間	-	-	-
8年間	0.5%	-	0.6%
9年間	-	-	-
10年以上	0.7%	-	0.9%

10)理想とする、就職活動に最も適したスケジュール

※回答のなかった月は省略

理想の広報開始月はいつ頃か	全体(n=428)	国公立(n=89)	私立(n=339)
1年次4月	1.2%	1.1%	1.2%
1年次8月	0.2%	-	0.3%
1年次10月	0.2%	-	0.3%
1年次12月	0.7%	1.1%	0.6%
1年次3月	0.5%	1.1%	0.3%
2年次8月	0.2%	-	0.3%
2年次9月	0.2%	-	0.3%
2年次12月	0.5%	-	0.6%
2年次2月	0.2%	-	0.3%
2年次3月	0.7%	1.1%	0.6%
3年次4月	1.6%	-	2.1%
3年次5月	0.2%	-	0.3%
3年次6月	0.7%	1.1%	0.6%
3年次7月	0.2%	-	0.3%
3年次8月	0.5%	1.1%	0.3%
3年次9月	0.7%	2.2%	0.3%
3年次10月	4.4%	4.5%	4.4%
3年次11月	0.2%	-	0.3%
3年次12月	50.0%	50.6%	49.9%
3年次1月	2.8%	3.4%	2.7%
3年次2月	5.6%	1.1%	6.8%
3年次3月(17卒の広報開始時期と同じ)	21.7%	23.6%	21.2%
4年次4月	2.1%	3.4%	1.8%
4年次6月	0.7%	1.1%	0.6%
4年次8月	0.9%	1.1%	0.9%
4年次11月	0.2%	-	0.3%
4年次12月	0.7%	-	0.9%
4年次1月	0.2%	-	0.3%
4年次3月	0.9%	-	1.2%
卒業後	0.7%	2.2%	0.3%

※回答のなかった月は省略

理想の選考開始月はいつ頃か	全体(n=426)	国公立(n=89)	私立(n=337)
1年次4月	1.2%	1.1%	1.2%
1年次6月	0.5%	-	0.6%
1年次10月	0.2%	-	0.3%
1年次11月	0.2%	-	0.3%
1年次12月	0.2%	-	0.3%
1年次3月	0.2%	-	0.3%
2年次4月	0.5%	-	0.6%
2年次5月	0.2%	-	0.3%
2年次6月	0.5%	1.1%	0.3%
2年次8月	0.2%	-	0.3%
2年次2月	0.5%	-	0.6%
2年次3月	1.2%	-	1.5%
3年次4月	1.6%	1.1%	1.8%
3年次6月	0.2%	-	0.3%
3年次11月	0.2%	1.1%	-
3年次12月	1.2%	1.1%	1.2%
3年次1月	0.7%	2.2%	0.3%
3年次2月	5.2%	3.4%	5.6%
3年次3月(17卒の広報開始時期と同じ)	19.2%	19.1%	19.3%
4年次4月	35.7%	40.4%	34.4%
4年次5月	3.8%	3.4%	3.9%
4年次6月	18.8%	18.0%	19.0%
4年次8月	3.1%	1.1%	3.6%
4年次9月	0.2%	-	0.3%
4年次10月	0.5%	1.1%	0.3%
4年次11月	0.2%	-	0.3%
4年次12月	0.2%	-	0.3%
4年次2月	0.2%	-	0.3%
4年次3月	1.2%	2.2%	0.9%
卒業後	2.1%	3.4%	1.8%

新卒紹介における各校の状況	全体(n=426)	国公立(n=86)	私立(n=340)
特に何もしていない	29.3%	40.7%	26.5%
情報は集めているが、学生には勧めていない	12.0%	18.6%	10.3%
希望学生に個別に案内している	31.0%	25.6%	32.4%
希望学生のための登録会を実施している	11.7%	2.3%	14.1%
なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている	16.0%	12.8%	16.8%

新卒紹介における今後の対応	全体(n=419)	国公立(n=88)	私立(n=331)
より積極的に案内したい	19.8%	12.5%	21.8%
案内してもよい	25.1%	20.5%	26.3%
どちらともいえない	46.3%	58.0%	43.2%
できれば案内したくない	6.9%	6.8%	6.9%
絶対に案内したくない	1.9%	2.3%	1.8%

11)自由記述
 昨今のインターンシップ事情について<一部抜粋>

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関西	私立	キャリア教育インターンシップと就活直結インターンシップ(実質会社説明)の混同が年々激しくなっている。
関東	私立	前向きにインターンシップに取り組む企業等が増えることは、学生の機会が増えるだけでなく、低年次から卒業後の進路を考えるきっかけにもなるので良い傾向であると考えている。ただ、例年、お願いしているインターンシップ受入先様のいくつかが就職活動開始時期の後ろ倒しの影響を受け、受入困難となってしまったのは非常に残念であった。
中国	私立	単位取得型の長期インターンシップが対応できる大学(学部)・企業は一部の大学(学部)・企業に限られています。内容はどうであれ、学生が気軽に参加できる短期インターンシップの方がいいのではないかと感じ始めている。
関東	国公立	インターンシップを就職活動の一部としてもよいと思う。なぜならば、短時間の面接を数回実施するよりも、お互いのマッチ度が量られるから。まさに就活そのものの目的であると思う。
関東	私立	学生の参加率を増やす為には、企業さん等の協力が不可欠。しかしながら、まだまだ企業さん等の認識不足(インターンシップの目的・内容など)が目立つ。公的な機関からも「受けてやっている」と受け取れる発言がまだまだある。大学は、企業さん等へ協力をお願いする立場であることは間違いないが、これからの若者(大学生)をインターンシップを通じて育成するという社会全体の認識が必要。インターンシップは、それだけの効果があるものだから。
関西	私立	企業の短期インターンシップ増加に伴い、大学主催のインターンシップへの3年生の参加が大きく減少。
関東	国公立	受入先より大学を通して申込みよう指示があるインターンシップに関して、手続き方法に統一性がなく、その処理が非常に煩雑である。
北海道	私立	大学→インターンは学生にとっての学びの場・気づきを得る場であるべき。企業→インターンを選考の場、学生へのアピールの場として活用したい。学生→インターンで社会を学びたい・今後の就活への気づきを得たい一方で、志望企業の選考が少しでも有利になるようにしたい。目的は三者三様で、結果として学生が振り回されてしまっています。この現状はどうか解消しなければと思います。
中国	国公立	単位認定を伴わないインターンシップと称する企業説明会等に賠償責任保険を課す企業が見受けられたが、大学が行事として認めなければ学研賠(インターンシップ賠)が適用されないことを承知していないことは問題。
関東	私立	長期化している傾向があり、正科のカリキュラムと重なってしまうため、なかなか参加しづらい。また、マスコミ業界はインターンシップを採用の機会にしていることが多いため、学業を真面目に取り組む学生が採用の機会が失われる場合もあるため困惑している。
関東	私立	クリエイター志望の学生が多く、インターンシップ受け入れ企業の確保が大変です。また、高い知識や技術も求められるので、多くの学生を派遣することはできません。ただ、インターンシップは、学生のモチベーションを高くする効果があるので、1人でも多くの学生が参加できるよう支援しています。
関西	私立	大手、希望の企業にしか申込みない学生が多い。
関東	私立	インターンシップガイダンスの参加が例年より増え、学生の関心が高くなっている。
関東	私立	インターンシップに関心を持つ学生が増え、3~4年次生(6年制薬学部)の参加人数が増加している。
甲信越	私立	学生が忙しすぎて(集中講義、実習、教職、学芸員)1週間以上のインターンシップに参加しない。学生の経済状況が悪く、往復の交通費や宿泊費を出してまで参加しない。
東北	私立	採用・選考の一部に取り入れている企業・団体が増えてきているように感じている。そのため、3年生の前期ガイダンスでビジネスマナー講座を取り入れたりとプログラムを変更して対応できるようにしている。
関東	国公立	事務局で取りまとめないと受け入れができない、また、事務の進め方が受入先及び受入れを調整する団体等によって異なるため、事務的負担が増大した。
東海	私立	インターン志望者の増加に伴い学校及び企業側の負担が増加している。単位目的によりとりあえずインターンを受ける、という学生が増え、学生の意欲は薄れ気味。
関西	私立	1部ではあるが、インターンシップの受入を実施する企業数が増加している。
東北	私立	採用直結型が増えている。実施企業・団体が増えている。
東北	私立	各情報社ならびに事業所によるインターンシップ関連のイベントが実施されているが、部活動に所属している学生向けのイベントも実施してほしい。
中国	国公立	1dayインターンシップを実施している企業は多いが、時間と費用をかけ遠方まで出かける学生にとって本当にメリットがあるのか疑問に思う。
東北	私立	企業主導の(採用目的とも捉えられる)ISや期間にこだわらないIS、都市圏以外での開催ISが増えたと感じる。そもそも「インターンシップ」はなんなのかがあやふやになるほど、「インターンシップ」という言葉が一人歩きし過ぎているように感じる。結果、学生にも「インターンシップ」の意義や目的を伝えづらい環境になっていることに危機感を感じている。
関西	私立	積極的に活用する学生と全く活用しない学生の2極化が鮮明化している。企業サイドもインターンシップに参加した学生を優先的に採用する傾向がみられる分、就活スキルによって機会の不均等が生じていることを懸念している。都市部の大学と地方の大学では、ネット環境や交通アクセスといったインフラレベルの格差があるなかで、現在のインターンシップ優先の時流は一層の就活格差を助長すると予想している。ナビサイト各社には、WEB上に現れない就活生へのセーフネット事業を推進されることを期待している。
東北	私立	実践型・長期インターンシップが目立ってきているが、地域間格差による機会の差が大きい
関東	私立	2週間未満のものをインターンシップと呼ぶのはいかがなものかと思えます。
九州	私立	職業観、就業意識を涵養するためのインターンシップと、採用選考を前提としたインターンシップとを厳密に分ける必要があると考えられる。後者の名称を変えてはどうか。

保護者向けガイダンスの内容<一部抜粋>

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	私立	各学科ごとのプログラムの中で、学科によっては、内定者や卒業生の話を保護者に聞かせる機会を設けている。
関東	私立	先輩たちの就職活動についてや就職先企業などの紹介。ブースを設けて、個別相談に応じています。
関西	私立	卒業生を講師として招聘し、在学中の活動内容等の講演をして頂く。
関西	私立	卒業生(1名)および4年次生(2名)による就職活動報告。
九州	私立	就活における自校学生の好事例、改善点。
九州	国公立	学生による就活状況の報告。
中国	私立	今年度は学生の「声」(ビデオ)を流す予定。
関西	私立	学生の自主活動紹介 キャリア教育での地域活動。
関西	国公立	専門家の講演。
北海道	国公立	保護者向けのガイダンスは、以前は就職活動以外の内容も含んでいたが、ここ数年は就職活動の内容に特化している。
関東	私立	就職活動に必要な費用など。
九州	私立	大学の概要、カリキュラムスケジュール、大学生活について。
関西	私立	Uターン情報など(地方で実施の場合)。
北海道	私立	いつ頃から業界研究を始めるか、また自己分析の必要性については毎回説明。 その他、最終内定率は過去3年分について説明している。
中国	私立	大学生生活の過ごし方について、公務員について。
東北	私立	就職活動にかかる費用や援助についてのお願ひ。
甲信越	私立	三者面談。
東海	私立	美大生に求められるスキル、ポートフォリオ作成。
関西	国公立	進学など就職以外の進路に関わる情報提供。
四国	私立	大学広報誌で状況説明。
関西	私立	専門職別ガイダンス、個別相談。

特徴的だった保護者からの相談<一部抜粋>

エリア	学校区分	自由回答部分記載
東北	私立	子息の就職状況を全く把握していない場合がある。
中国	私立	保護者、採用環境がいい時期なのでどんな企業にでも就職できるのではないかとの雰囲気がある。
関東	私立	多くの保護者はスケジュールも含んで状況を把握していない。または噂を信じている傾向がある。
九州	私立	母親中心の相談から、父親が直接相談されるケースが増加している。子どもがほぼ単独で動いて進路を決めようとしているのでその企業を辞退させ他の企業を受けさせたいとの支援要請あり。
関西	私立	自分の時と就職活動のやり方自体が違うので戸惑っている。
北陸	国公立	学部卒と院卒との就職に関してのメリットとデメリットについて、出身地域の求人のある企業名を紹介して欲しい。
関東	私立	公務員受検を考慮する場合の就職活動方法について、インターンシップの参加について。
関東	私立	親自身のコネで子を就職させてもよいか?、息子に見せるから求人票をいくつか欲しい。
東北	私立	地元の公務員を受けさせたい、対策はいつから? インターンシップの企業選び(地域、首都圏)、スーツやパソコンなど、就職活動に必要なもの。
東北	私立	地元への就職について。卸・小売業に対する客からの目線での企業、職種、業種の評価。
関東	私立	交通費など就職活動に必要な費用。
関西	国公立	航空業界への就職に関する質問留学と就職活動の関係についての質問。
九州	私立	営業職やアミューズメント業界への就職に対して、親が強く反対。
東海	私立	学生本人より保護者の方が熱心な場合がほとんどである。
関西	国公立	学部学科別の就職先の具体的な企業名を知りたいという相談。
関西	私立	教員採用試験が不合格だった場合の大学としての支援について。
東海	私立	資格取得が就活に及ぼす影響。
東海	私立	就職活動中の子への接触の仕方の相談があった。
北陸	私立	就職内定率の前年度比較の増減要因について(一部学科)。
関西	私立	就活をしても内定が出ない、就活をしない、何も言ってくれないので分からない。
関西	私立	親が金融機関勤務で「自行以外の金融機関に絶対受からせてほしい」。
東海	私立	専攻(専門)外の特長分野への就職状況及び実績。
関東	私立	選ばれた学生の発表だけでなく、苦労した、苦労している学生の状況を知りたい……。
関東	私立	内定後の対応(オワハラ)について。
東海	私立	内定先の決算書等の取り寄せ依頼。
北海道	国公立	本学は、民間企業への就職が約85%、公務員への就職が約15%であるが、保護者からの相談は、圧倒的に公務員に関する相談が多い。
東北	国公立	留学スケジュールと就職活動時期について。

既卒者向けの就職支援内容<一部抜粋>

エリア	学校区分	自由回答部分記載
中国	私立	「つながりカード」を発行し、いつでも相談OKのスタンスを取っている。
関西	私立	『就職希望届』で希望内容と連絡方法を登録し、キャリアセンターでフォローを行う。
東海	国公立	キャリアアドバイザーとの面談、来学者(既卒者)への求人情報の開示。
関東	国公立	キャリアサポート室内に既卒者コーナー(就職情報関連資料等)を設置。
東海	私立	ハローワークとの連絡。
関西	私立	ホームページに卒業生向けのキャリアデザインセンターの案内を掲載し、以下を受け付けている。個別相談や求人検索システムの利用、キャリア形成、就職に関する資料の閲覧なども実施。また、国家試験不合格だった卒業生へは個別に郵送で案内し、上記以外に学校施設(自習室、図書館)や模試を受講できる支援を実施。
関東	私立	メーリングリストでの求人情報提供および就職相談。
東北	国公立	メールによる求人情報の提供、キャリアデザイン講座としてブラッシュアップセミナーを実施。
東海	私立	学内求人ナビの利用など。
関西	私立	学内合同企業説明会の案内を発送している。大学に到着する「求人票」を閲覧できるように求人検索NAVIの案内をしている。
中国	国公立	希望に応じて、ES添削や面接練習を行っている。
九州	国公立	既卒3年以内であれば、本学の就職支援制度(ガイダンス、就職相談、求人情報)を利用することができる。
北海道	国公立	既卒の来学者には、求人の紹介を行っているが、来学者数は極めて少ない。
四国	私立	既卒者向けの求人をファイリング、掲示している。
九州	私立	既卒者専用コーナー、求人票ファイルなどの閲覧。学科担当教員との面談。
関東	私立	求職登録することにより、求人票の閲覧(本学就職支援システムの利用可)、相談、添削、面接練習、公務員集中講座(無料)参加許可等。
関東	私立	求人紹介、個別相談、履歴書やエントリーシートの添削、面接練習等。
中国	国公立	求人情報の提供、ジョブカードの作成、履歴書・職務経歴書、面接などについての個別相談。
甲信越	私立	求人情報の提供、履歴書・ESの添削、模擬面接、公務員対策等。
甲信越	国公立	個別相談、教員を通じての求人情報の提供。
関東	私立	個別対応(相談があれば対応)●業種・職種の再確認、●書類作成、●面接練習等。
東北	私立	職に関し、なにかあればいつでも気軽に連絡できる場所があることを口頭およびカード配布で学生にPR。
関東	私立	新卒応援ハローワークの出張窓口の開設。
甲信越	私立	卒業後1年くらいは、ハローワークと情報を共有して卒業生に情報提供をおこなっている。支援内容は在学時と変わらない。
関東	私立	卒業後1年間ではメンタルサポート講座などを開催又1年以降も再就職支援では永久にサポート(民間人材企業とのタイアップ)。
北海道	私立	本学では、就職部を中心に既卒者の就職相談を行っています。卒業後も就職支援WEBサイト(進路支援システム)への登録により利用が可能となり、就職情報の収集ができます。また、「就職相談会」「病院・薬系企業によるランチョンセミナー」「個別就職相談会」「薬系企業セミナー」への参加や就職資料室(8:30~17:00)の利用もできます。

新卒紹介に対する意見<一部抜粋>

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	私立	紹介いただける企業、業種、職種の銘柄によります。
関東	私立	人材紹介会社から勧められる企業が、大学の方向性に合わない企業や、学生に適していない企業が多く、営利目的が色濃く、問題となったケースもあるので、大学として学生へ薦めることができない。
関東	私立	業者を選定して学生に案内している
関西	私立	学内合説を12月まで4年生を対象として行うので、そこの兼ね合いを見ながら新卒紹介登録会等の実施検討。
関東	私立	新卒紹介を利用し、効果があった学生がいる一方、トラブルの報告も多いため、積極的に勧める気にはなりません。
東北	国公立	雇用慣行上、新卒紹介(就職をビジネスとする)は好ましくないが、人口減少、地方創生に関して、有意義な方法論のひとつになり得る。
関西	私立	トラブルにつながる案件も発生しているので学生向けの事前ガイダンスの必要性を感じている。

2017年卒・2018年卒の就職支援についての意見<一部抜粋>

エリア	学区分	自由回答部分記載
北陸	国公立	学校指定推薦で求人票を出してくるものについては、5月以降から対応しているが、試験途中での推薦書提出(圧受け推薦)については、協定による試験開始日以降で対応している。
関東	私立	業界の動向に注視し、的確且つ正確な情報を提供していきます。基本は変わらず、個性化する学生の希望に合致する就職支援を展開していきます。
甲信越	国公立	後付けの推薦はやめていただきたい。
北海道	国公立	授業・ゼミに支障のきたさない就職活動スケジュールの策定が望まれます。
甲信越	私立	ここ数年、学生のエントリー開始・採用選考試験開始時期の変更に伴い、業界・企業研究不足など学生の中で弊害が見られるので、できるだけ早い時期の日程を確定してほしい。
関東	私立	学生にとっても最も大事なことは学業と学生生活であるため、企業側には採用日時の配慮や内定後の研修などで必要以上に拘束するようなことは控えて欲しい。 選考結果が不合格でも学生には伝えて欲しい。(指定された期日まで学生は不安な気持ちで待っています)
東海	私立	就職活動時期の主体者は学生であるという視点から考えると、国内における学卒新卒者の採用スケジュールは、公務・企業が一線に並ぶことが望ましく思えるが、一万、数十万の新卒者に雇用機会を均等に提供するという視点からは、現状を追認することになるかと思う。しかし、毎年企業の採用活動時期の変更が産業界の都合で行われることは、学生にとって不利益であるため固定化できないのであれば、談合もとられない憲章等は撤廃すべきである。
東海	私立	学生自ら就職情報を積極的に収集できるような指導していきたい。
関東	私立	2017卒採用のスケジュール決定が遅かったため、選考と教育実習の日程調整ができず、選考辞退するなど学生への影響が大きかった。教育実習期間は1年前に決まるので、採用スケジュール変更は早期に決めてほしい。
関東	私立	キャリアセンター重点事業5+1の取り組み1.低学年(1・2年)～高学年(3・4年)への継続キャリアサポート教育、2.女子学生の立場に立った就職支援、3.民間企業就職支援、4.公務員就職支援、5.U・ターン就職支援、6.1～5項目をサポートする「調査・統計」機能の拡大 障がい者・心に困難を抱えた学生への支援。
東北	国公立	本学のように1年の留学をプログラム化している大学にとっては、就職活動のスケジュールが毎年変わることを悪影響が強い。留学する学生にとっては2年前にはスケジュールが明示されていないと正直厳しい。
関東	国公立	就職活動の日程や状況の変化があれば知りたい。
中国	私立	OG・OB訪問希望学生への対応(個人情報をごくまで開示しているのか、開示する場合どこまで開示するか、企業側との連携はどうか)について、他大学の傾向が知りたい。
関東	私立	採用活動スケジュールについては再考すべきだと思います。再考する上で一番のPOINTは、学生にどのように指導するのか?学生の戸惑いを少なくするためには?という観点で再考すべきだと思います。現在の3/1～6/1は、学生にきちんと指導できるスケジュールになっていません。特に6/1です。企業間の競争原理は、企業活動の中での自然体ですので、努力目標では守らない企業さんが続出するのは当然だと思います。であるのであれば、・守らざるを得ないシステムにする(3/1は就職サイトのグランドオープンが大部分の企業さんが守らざるを得ないシステムとなっている)or守らない場合は罰則を設けるor努力目標は設けない、の何れかにすべきだと思います。何れにしても、大学新卒における就職活動はとても大切!と学生に指導している我々大人が、守っていない企業さんが多く存在することを知りながら、学生に努力目標をルールとして指導しなければならない状況無くすることが必要だと思います。
四国	国公立	学校推薦に関しては主に各学部にて実施しているため、詳細の把握はしていないが、これまでは理系の学生が中心であったと認識している。しかし今年は、文系の学生に対しても後付け推薦を求めるケースがあった。
関東	私立	8月選考開始が1番良いと思うが、1番の問題は毎年スケジュールが変わること。学生のために、とりあえず来年は動かさず、今年と同様のスケジュールで行ってほしい。
東北	私立	企業様の求人票記載事項に関し、厚労省用紙式が新たになったことありますが、今一度見直しをいただきたいです。学生にとっては第一印象、企業様との第一接点、学内での企業紹介ツール、として重要ツールとして活用しておりますのでぜひお願いしたく存じます。例えば、古い情報、なにかの情報の使い回し(単なるコピー)、せっかくの企業PRのスペースが空欄、雇用条件が異なるのに複数職種が1枚に無理やり詰め込まれていて醜い、など、機会ロスと感じます。
関東	私立	就職活動の開始時期について、早い・遅いなど、学生がどう感じているかを把握したい。
甲信越	私立	選考時期が2ヶ月早くなったが、前年よりはオワハラが少なくなったようである。ただし県内の採用時期はほとんど変更がなかった。
東海	国公立	就職活動スケジュールをいつにするかは一長一短であるが、スケジュールの形骸化で困るのは学生である。
東北	私立	就職活動スケジュール変更に伴い、「積極的に活動する学生とそうではない学生の二極化が顕著となっている」と各大学の就職担当者からお話を伺う機会があった。本学でもその傾向が見られ、今後この状況を打開すべく低学年からのキャリア形成が重要であると思われる。本学では1年生の前期から必修科目である「キャリアデザイン」の講義を導入しているが、一方通行になりがちな講義型の内容ではなく学生が主体性をもって取り組めるような内容にしていきたい。
九州	国公立	3年生のインターンシップ(1day含む)が活発になり参加者も増加。6月～7月、4年生の2次募集時期と重なりどちらからも相談が増え、対応に追われる状況になっている。選考スケジュールの変更が、大いに影響していると感じる。